

# 人権って、なに？

## 人権について考えましょう

### 人 権 と は

誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。

全ての人は、人間として等しく同じ人権を有しており、一人ひとりが「かけがいのない存在」なのです。

全ての人は、一人ひとり違いがあります。人はみんな、違い＝個性があるから尊いのです。人それぞれの個性が生かされて、社会ができています。

しかしながら、同和問題 女性 障がい者 高齢者 子ども・・・・・・・・と、さまざまな人権問題が存在しています。

### 主な人権の14課題

私たちは同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に、きちっと向き合うことは大切であります。

人権への理解を深めるため主な課題を紹介します。

人権を理解して行動することは、けっして難しいことはありません。「自分が嫌なことは、他人にもしない」「自分勝手な理由で他人を傷つけない」

相手の気持ちや立場に心を寄せることが、あなたの大切な人権も護ります。

#### ① 女 性

女性であることを理由に社会参加や就職の機会が奪われることがあってはなりません。

パートナーからの暴力（DV）、性的な嫌がらせ、ストーカー等から女性を守ることも重要な女性の人権です。

#### ② 子 ども

巧妙化するいじめ、体罰、親の養育放棄、児童買春、児童ポルノ等、子ども

もが被害者となる事案があとを絶ちません。大人と同じく子どもの人権も最大限尊重されるべきであり、私たちが守らなければなりません。

### ③ 高 齢 者

高齢者への就職差別や虐待を許すことなく、その貴重な知識や豊かな経験を社会に生かしましょう。

家庭や地域で、介護の際の虐待や詐欺商法から高齢者を守り自立を支えましょう。

### ④ 障 が い 者

車椅子での乗車拒否や入居拒否など、障がい者への不当な扱いをなくし、障がいがある人の声に耳を傾けましょう。誰もが住みやすい平等に暮らせるバリアフリー社会の実現が待たれています。

### ⑤ 同 和 問 題

今もなお残る日本固有のこの問題を根絶するために、私たち一人ひとりが同和問題を自分の課題として受け止め、同和問題の根絶に積極的に取り組む必要があります。

### ⑥ アイヌの人々

アイヌの人々への理解を十分に深め、結婚や就職を妨げる差別や偏見をなくし、アイヌの人々の独自の豊かな文化が次世代へ継承されるように、その保存と伝承を一緒に支えましょう。

### ⑦ 就 職 差 別

就職は一人ひとりの人間にとって生活の安定のためだけでなく、自己実現を図り、豊かな社会生活を営む上で極めて重要であります。

応募者の基本的人権を尊重し、「適正・能力」を基準とした選考採用をする必要があります。

(働くのは私！ 私自身を見てください)

## ⑧ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等

拉致問題は日本国民全員で認識を深めなければならない緊急性の高い問題です。

国際社会と連携しながら、北朝鮮当局による人権侵害問題への対応と解明に、みんなで取り組んでいきましょう。

## ⑨ 外国人

各々の国の文化や生活習慣を理解し、人格と人権を尊重する人間関係をはぐくみましょう。

就労拒否、入居、入店拒否など外国人であることを理由とした不利益な取扱いをなくしましょう。

## ⑩ HIV感染者・ハンセン病患者等

誤った知識や偏見による差別等、プライバシー侵害問題が今もまだおきています。

正しい知識と理解を広めて、患者・回復者とその家族の人権を護る社会をつくることに私たちに課せられています。

## ⑪ 犯罪被害者等

直接的な被害に加え、興味本位なうわさや心ない中傷等に傷つけられることがあります。

犯罪被害者とその家族の名誉や生活の平穏への配慮を理解する努力が、私たちに求められています。

## ⑫ 刑を終えて出所した人

就労差別、住居の確保が困難である等の厳しい現状を乗り越え、円滑な社会生活を営むために、本人の強い更生意識に加えて、家族、職場、地域社会が一体となった支えを心がけましょう。

## ⑬ インターネットによる人権侵害

誹謗・中傷や個人情報の漏洩、差別を助長する表現等、インターネット上に起きている様々な人権問題に対処するには、正しい利用方法を学び、利用者の人権意識を高める必要があります。

#### ⑭ その他の人権課題

性同一性障害や同性愛などの性的指向、ホームレスの人、人身取引等、私たちが取り組むべき人権課題はこの14課題だけに限りません。一人ひとりの努力が人権擁護の社会をつくれます。

私たちは、日常生活の中で多くの人と接しています。しかし、その中で気付かないうちに相手を傷つけていることもあります。

普段の会話の中の何げない一言が、知らないうちに多くの人を傷つけているかもしれません。

一人ひとりの人権意識が問われています。

J Aグループ大阪人権啓発推進連絡会